

隊 友

湘南支部ニュース

令和7年4月号 (No.258)

発行責任者

公益社団法人隊友会 神奈川県隊友会
湘南支部長 清崎 忠匱
平塚市豊原町 23-14
Tel: 080-1174-8224



国民と自衛隊との架け橋！

「隊友会本部総会時の県会長による議決権の代理行使のための委任状の提出のご協力のお願いについて」(事前連絡)

毎年、4月号隊友紙に掲載されます通り、令和7年度は6月24日に「隊友会令和7年度定時総会」が東京で開催されます。この総会に神奈川県隊友会代表として会長が出席し、県代表の議決権を行使します。

1. 委任状

議決権を行使するためには、正会員各位から委任状を提出していた

だく必要があります。隊友会の規約により正会員数の1/2以上からの委任状が必要となっています。なお、隊友紙を購読していない正会員は、隊友会本部の議案が掲載される5月号隊友紙を確認することができなくため委任状の対象としないこととなりました。よって、正会員の隊友紙購読者77名の過半数39名の委任状が必要となります。正会員各位のご協力を宜しくお願い致します。

3. 電磁的方法(メール)による議決権の代理行使の方法

前回から電磁的方法(メール)による議決権の代理行使の方法が推奨されています。このため、湘南支部としましては既にメールアドレスを登録されている正会員にはメールを登録している正会員には、湘南支

についてご連絡いたします。(4月下旬を予定)

4. 電話またはハガキによる議決権の代理行使の方法

電話による議決権代理行使の可否についての確認が可能となりました。このため事務局から電話を活用し確認します。もしくは少人数宛となりますが、従来通り別途送付しますハガキの「議決権の代理行使書(委任状)」に必要事項を記入の上返送をお願いします。

5. 事務局の考え方

昨今の郵送料金、宅配等の値上げに対しましてはその節減対策に苦慮しております。このため、本件に関する確認を主用とし対応し、目標の39名の議決権代理行使の承諾を得次第はがきの郵送は終了します。

「令和7年度湘南支部総会における防衛講演会の案内」

1 日時：令和7年5月24日(土)
Eメール：komiyama@ktd.biglobe.ne.jp
電話：090-2157-5297

【お問い合わせ先】
湘南支部事務局長 小見山 雅
こみやま ただし

(3)最後の方法として一部の会員へ送付しますハガキの「議決権の代理行使書」に必要事項をご記入の上、ご返信、ご返送をお願い致します。
(4)現在正会員の方でメールアドレスを登録されていない会員は、ま

だ時間的に余裕がありますのでこの機会に事務局長へ登録をお願い致します。またアドレスの変更等がありましたらご連絡下さい。踏力をお願いします。

以上議決権の代理行使のための委任状の提出のご協力のお願いについて事前にお知らせ致します。

2021年10月から現職。
日米台安全保障研究事業、安全保障戦略のあり方研究事業等を中心として推進。

4. 意見交換会

4月中旬には支部総会等ご案内をお送りいたします。

会員へはメールでご案内します。
・メールアドレスを登録されている会員へは、郵送によりご案内します。

ミスターX

「支部ニュース編集室から一言」

隊友会湘南支部ニュースの歴史は古い。年12回発行(毎月発行)であり、間もなく令和7年6月号は260号を迎える。その間の現清崎支部長(支部ニュース発行責任者)と深澤編集長との編集作業の苦労話等を編集作業室留守番役の不詳ミスターXが特別にこつそりお伝えする。

※防大第32期卒、放送大学大学院(社会経営科学)修了、学術修士。海上自衛隊の艦艇水陸両戦、防衛省内部部局・海幕(防衛、運用(訓練)班長等)勤務、
2011・2012年国際掃海訓練(ペルシヤ湾)派遣部隊指揮官、2016年掃海隊群司令部幕僚長、2018年教育室長兼教授、2020年退職(海将補)。

支部ニュースの大きさはご存の通りA4版紙の表裏を使用し毎月各種の記事、連絡等の掲載で紙面が足りないこともしばしば生じるようである。

清崎支部長は支部長として14年目を過ぎようとしているが、私が見たところ、就任して10年間ぐら

いは概ね余裕をもつて編集長へ毎号の掲載記事を提供していたようである。しかし支部長のみの記事では面白くないと気づいたのか特別会員はじめ、各支部行事の担当理事役に依頼し、各種の幅広い内容の記事を掲載するようにもなつて来ていることは大いに歓迎すべき事と感じてゐる。

さて支部長と編集長との編集作業に関する涙ぐましい話を一つ。

最近支部長の投稿記事の完成がとにかく遅れる傾向が強い。発行責任者でありながらである。この2年ぐらい前から、支部長からの原稿遅れが原因で編集作業が遅れることは筆者が見ても明らか。編集作業終了後は原稿の印刷工程が控えており印刷終了後の翌日が会員への配布のための宅配への引き渡しとなる。その印刷の期限に間に合わせるため編集作業は深夜に及びメールおよび電話による編集作業は、午前3時に完了と言う事も珍しくない状況で、概ね午前1時～2時くらいが普通となつていて。大変なのは編集長である。彼は電気関係の現場監督的な仕事があり、帰宅は午後9時過ぎが普通である。編集作業が完了し出勤が朝6時ぐらいとのことで、睡眠時間は3時間もない。

支部長との編集作業が難産の上完了した時の爽快感は、何とも言えない満足感に浸るらしい。それもつかの間、ふと見ると時計は午前3時、編集長は6時ごろの出勤、支部長は安心の一言で爆睡へと大きく行動が異なるのも支部長にその原因があることは明白と推測している。

私が見たところでは、支部長は今や8歳となり、特に数年前から投稿記事作

成に悪戦苦闘が感じられる。年齢的にある程度止むを得ないことかもしれない。しかし神様は存在するのである。最近朗報が飛び込んできた。支部長は近々この悪戦苦闘の毎月から解放されるとの話である。長年（14年間）の支部ニュース作成の相棒である編集長の緊張が解け体調を崩すことにならなければと他人ごとではない。

湘南支部ニュースは、初代編集長日高
招会員二〇九名、次見采翠編集長二〇二人

う人が國の勅命により、磯長國鎮護の為創祀。

The image shows vertical calligraphy in black ink on a light background. The main characters are '川勾神社' (Kawaguchi Shrine). To the right of the main text is a red square seal impression with the characters '相模國二宮' (Sagami Province, Second Shrine) around a central four-character phrase. To the left of the main text is the date '令和七年二月一日' (January 1, Reiwa 7).

<p>の並々ならぬ努力の賜であり今年6月号で260号にならんとしている。</p> <p>深澤編集長の明るく、そして広い知識と深夜、早朝にも拘わらず労苦を厭わぬ落ち着きのある編集対応（ドクターX並み）にこれまで現支部長はどれほど救われたか知れない。感謝の念で一杯である。また新支部長にこの編集作業を引き継いでもらえる事に謝意が準備されていることだろう。当記事が掲載される支部ニュース4月号の編集作業はどのような状況か覗いてみることにする。</p> <p>兎にも角にも14年間支部ニュース発行責任者としてご苦労様でした。</p>	<p>（湘南支部ニュース編集室）</p> <p>ミスターX 記</p>	<p>相模國二之宮 川勾神社 支部理事役 深澤 文晴</p> <p>神奈川県中郡二宮町山西に鎮座する神社。延長5年（927年）の『延喜式神名帳』に記載されている相模国の延喜式内社十三社の内の1社（小社）とされる。旧社格は県社。</p> <p>創建は、第1代垂仁天皇の時代（約2000年前）、磯長国造・阿屋葉造とい</p>
<p>揃山（かみそろいやま）で行われる旧相模国の伝統的な祭事、国府祭（こうのまち）に参加する相模五社の一つで</p>	<p>同国二宮に当たる。祭の中心的な儀式「座問答」は相武（さがむ）と磯長（しなが、「師長」とも表記する）をあわせて相模国となつたときに、寒川神社と当社のいずれを相模国一宮とするかで争つた故事によるものとされる。所在地名の「二宮町」は当社にちなみ、古くより「二宮大明神」「二宮明神社」とも称される。</p>	<p>御祭神</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大名貴命（おおなむじのみこと） ・ 大物忌命（おおものいみのみこと） ・ 級津彦命（しなつひこのみこと） ・ 級津姫命（しなつひめのみこと） ・ 衣通姫命（そとほりひめのみこと） <p>二宮町指定文化財（重要有形文化財）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 木造隨身倚像2体（彫刻） （平成19年3月指定） ・ 田船（考古資料）奈良時代と推定。 <p>1915年（大正4年）に旧神領の水田から出土。</p> <p>（昭和49年6月5日指定）</p>
<p>毎年5月5日は大磯町国府本郷の御</p>	<p>相模國の伝統的な祭事、国府祭（こうのまち）に参加する相模五社の一つで</p>	<p>同国二宮に当たる。祭の中心的な儀式「座問答」は相武（さがむ）と磯長（しなが、「師長」とも表記する）をあわせて相模国となつたときに、寒川神社と当社のいずれを相模国一宮とするかで争つた故事によるものとされる。所在地名の「二宮町」は当社にちなみ、古くより「二宮大明神」「二宮明神社」とも称される。</p>
<p>毎年5月5日は大磯町国府本郷の御</p>	<p>相模國の伝統的な祭事、国府祭（こうのまち）に参加する相模五社の一つで</p>	<p>同国二宮に当たる。祭の中心的な儀式「座問答」は相武（さがむ）と磯長（しなが、「師長」とも表記する）をあわせて相模国となつたときに、寒川神社と当社のいずれを相模国一宮とするかで争つた故事によるものとされる。所在地名の「二宮町」は当社にちなみ、古くより「二宮大明神」「二宮明神社」とも称される。</p>

稿 今後とも各種ジャンルに亘る、ご寄 稿のご協力を宜しくお願い致します。	編集後記	「支部の予定」	・ 05/17 (土) 第2回支部理事役会	・ 05/21 (水) 5月号隊友紙発送	・ 05/24 (土) 支部総会・防衛講演会	・ 06/07 (土) 第2回支部理事役会	・ 06/18 (水) 6月号隊友紙発送	正会員	牧石健志、井岡成吉、栗田恵子、小 池淑子、野村昌平、堀岡忠重、	形武夫、渡辺一正、荻原洋聰、加藤 健治、	終身（寄付者）	山岸征洋、	湘南支部長（四月十四日現在）	令和7年度年会費納入者（順不同・敬称略）	次の会員各位から年度会費を納入し ていただきました。ご協力に感謝申し 上げます。	特別会員	上	令和七年二月一日	奉拝	川勾神社	相模國	美喜院	内宮	大宮	神社	社	川	勾	神	社	奉	拝	上	令	和	七	年	二	月	一	日	奉	拝	上	令	和